

世田谷区立桜丘中学校　社会科　年間指導計画

新しい社会 地理 (東京書籍)	年間授業時数	105	学年	2年	学級	A組～G組
-----------------	--------	-----	----	----	----	-------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	○日本の地域や人々の生活などについて関心を持ち、主体的に学習しようとすることができる。 ○日本の地域ごとの特色について、学習した内容を用いて自分の言葉で説明することができる。 ○写真資料や映像資料、地図やグラフなどの資料から必要な情報を読み取ることができる。 ○資料やインターネットから情報を収集、取捨選択することを通して課題解決に向けた自分の考えを形成することができる。
使用教科書、副教材など	「新しい社会 地理」(東京書籍) 「中学社会科地図」(帝国書院)

2. 学習指導計画及び評価方法等

学期	月	単元タイトル	学習のねらい	活動内容	評価の観点のポイント		
					重点知識・技能 ○は重点知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度 ・粘り強い態度で、問題解決に向けて自ら工夫・調整して取り組もうとしている。
1	4	第3編第1章 地域調査の手法	・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの技能を身に付ける。	・身近な地域の調査 ・調査活動の発表	・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けています。	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	・身近な地域の特色や課題を予測し、見通しをもって主体的に追究している。 ・地域調査の手法について、単元冒頭で立てた予測をはじめとして、自らの学習を振り返りながら粘り強く考察することを通して、主体的に調査テーマを追究し、社会に関わろうという態度を示している。
5 6 7	5 6 7	第3編第2章 日本の地域的特色と 地域区分	・日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に着目し、地域的特色を理解する。 ・日本全体の地域的特色を理解するために、探究課題	・日本のイメージを考える活動 ・地図や写真資料、統計資料やグラフを読み取る活動 ・単元の課題について追究し表現する活動	・日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本にはさまざまな地域的特色があることを理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けています。 ・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けています。	・日本の地域的特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の地域的特色に関して設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究している。 ・単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

			を立て、見通しをもって主体的に追究する。		○標準時○時差○環太平洋造山帯 ○リアス海岸○扇状地		ている。
2	9	第3編第3章 日本の諸地域 1節九州地方	・九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・九州地方の地域的特色を理解するために、探究課題を立て、見通しをもって意欲的に追究する。	・自然環境を中心として、人々の生活の関係を考える活動 ・地図や地形図、写真資料、統計資料やグラフなどを読み取り考察活動 ・ICTを用いた活動 ・単元の課題について追究し表現する活動	・火山活動に由来する地形や温暖で多雨の気候からなる自然、盛んな農業、北部の平野に多い人口などの特色を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・写真やグラフなどの資料を活用して、九州地方の人々の生活やその背景を読み取り、地域的特色を理解している。 ○カルデラ○シラス○促成栽培 ○四大公害病	・九州地方で、自然環境の影響を受けつつ、産業や生活・文化が発達してきた理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を具体的に表現している。	・自然環境を中心とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していくこうとしている。 ・単元冒頭に立てた予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
	10	2節中国・四国地方	・中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・中国・四国地方の地域的特色を理解するために、探究課題を立て、見通しをもって意欲的に追究する。	・交通・通信を中心として、人々の生活の関係を考える活動 ・地図や地形図、写真資料、統計資料やグラフなどを読み取り考察活動 ・ICTを用いた活動 ・単元の課題について追究し表現する活動	・自然環境の異なる三つの地域、盛んな農業、人々の生活や産業を変えた交通・通信網の整備、瀬戸内に集中する人口などの特色を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・写真やグラフなどの資料を活用して、中国・四国地方の人々の生活やその背景を読み取り、地域的特色を理解している。 ○季節風○瀬戸内工業地域 ○石油化学コンビナート	・中国・四国地方で、交通・通信網が重要な役割を果たしている理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を具体的に表現している。	・交通・通信を中心とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していくこうとしている。 ・単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
		3節近畿地方	・近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・近畿地方の地域的特色を理解するために、探究課題を立て、見通しをもって意欲的に追究する。	・人口や都市・村落を中心として、人々の生活の関係を考える活動 ・地図や地形図、写真資料、統計資料やグラフなどを読み取り考察活動 ・ICTを用いた活動 ・単元の課題について追究し表現する活動	・南北で大きく異なる地形や気候、盛んな工業や商業、中央部に集中する人口などの特色を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・写真やグラフなどの資料を活用して、近畿地方の人々の生活やその背景を読み取り、地域的特色を理解している。 ○大阪大都市圏 ○阪神工業地帯 ○古都 ○ターミナル駅	・近畿地方の人口・都市・村落の変化の理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果をとして具体的に表現している。	・人口や都市・村落を中心とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していくこうとしている。 ・単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

	11	4節中部地方	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・中部地方の地域的特色を理解するために、探究課題を立て、見通しをもって意欲的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業を中核として、人々の生活の関係を考える活動 ・地図や地形図、写真資料、統計資料やグラフなどを読み取り考察活動 ・ICTを用いた活動 ・単元の課題について追究し表現する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・三つに分かれる地域の地形や気候、日本最大の工業生産額とその他の特色ある産業、東海地方に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けています。 ・写真やグラフなどの資料を活用して、中部地方の人々の生活やその背景を読み取り、地域的特色を理解している。 <p>○日本アルプス ○中京工業地帯 ○東海工業地域 ○伝統産業 ○高原野菜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方の個性豊かな産業が発達している理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を具体的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していくこうとしている。 ・単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
	12	5節関東地方	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・関東地方の地域的特色を理解するために、探究課題を立て、見通しをもって意欲的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信を中核として、人々の生活の関係を考える活動 ・地図や地形図、写真資料、統計資料やグラフなどを読み取り考察活動 ・ICTを用いた活動 ・単元の課題について追究し表現する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・山地に囲まれた広大な平野と特色ある気候、日本最大の人口密集地域、日本の交通と通信の中心地などの特色を理解し、その知識を身に付けています。 ・写真やグラフなどの資料を活用して、関東地方の人々の生活やその背景を読み取り、地域的特色を理解している。 <p>○関東ローム ○東京大都市圏 ○京浜工業地帯 ○京葉工業地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方で他の地域と強い結び付きが見られる理由を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を具体的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していくこうとしている。 ・単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
3	1	6節東北地方	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・東北地方の地域的特色を理解するために、探究課題を立て、見通しをもって意欲的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活・文化を中核として、人々の生活の関係を考える活動 ・地図や地形図、写真資料、統計資料やグラフなどを読み取り考察活動 ・ICTを用いた活動 ・単元の課題について追究し表現する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・山地が多く東西で大きく異なる気候、盛んな農業、鉄道や道路の路線に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けています。 ・写真やグラフなどの資料を活用して、東北地方の人々の生活やその背景を読み取り、地域的特色を理解している。 <p>○やませ○潮目 ○伝統産業 ○伝統的工芸品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方で伝統的な生活・文化が守られ、継承されてきた理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を具体的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な生活・文化を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していくこうとしている。 ・単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

	2	7 節北海道地方	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・北海道地方の地域的特色を理解するために、探究課題を立て、見通しをもって意欲的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を中心として、人々の生活の関係を考える活動 ・地図や地形図、写真資料、統計資料やグラフなどを読み取り考察活動 ・ICT を用いた活動 ・単元の課題について追究し表現する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の約 20%をしめる広大な面積、冷帯に属す気候、盛んな農業、少ない人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・写真やグラフなどの資料を活用して、北海道地方の人々の生活やその背景を読み取り、地域的特色を理解している。 ○アイヌの人たち ○屯田兵 ○輪作 ○酪農 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方で、自然環境の影響を受けつつ、たくさんの農作物を出荷したり、観光客をひき付けたりしている理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を具体的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を中心とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していくこうとしている。 ・単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。
	3	第3編第4章 地域の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解する。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを行ったことを適切に、議論しまとめる手法について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の課題を、SDGs のゴール 11 「住み続けられるまちづくりを」と結び付けて理解し、見出している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを行ったことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域を、住みやすく、よりよいまちにするための課題を予測し、その解決へ向けて見通しをもって主体的に追究していくこうとしている。 ・単元冒頭に立てた身近な地域の課題やその解決策の予測をはじめとする自らの学習を振り返りながら、地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野に粘り強く考察し、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 	

【評価方法】

- ①積み重ねテストによる「知識・技能」、「思考、判断、表現」の評価。
- ②振り返りシートやレポート課題による「主体的に学習に取り組む態度」や「思考、判断、表現」の評価。
- ③提出物の状況・内容による「主体的に学習に取り組む態度」の評価。
- ④授業内での発表などの表現による「主体的に学習に取り組む態度」の評価。
- ⑤授業内の小テストによる評価。